

# 検証

## 防潮堤計画

気仙沼

④

海岸や堤防の管理は、目的や場所によって所管する省庁が異なる。建設海岸と

港湾海岸は国土交通省、漁港海岸と農地海岸は農林水産省などと分かれ、災害復旧もそれぞれ行う。

堤防の中には、「治山施設」という名目で、保安林（防災林）とセットで整備されるものがある。海からの風害や塩害を防ぐ保安林を、高潮などから守ることが主目的のため、

「津波対策」として堤防高をかさ上げすることに問題が生じた。

明治三陸級の津波に備え、10㍎近い堤防高を確保するためには、堤防は相当大きくなり、守らなければならぬ保安林を再生するスペースが不足してしまうのだ。保安林制度を規定した森林法では、新たな用地確保が難しく、既存の敷地内での窮屈な復旧となる。

気仙沼市では林野庁がお伊勢浜、大谷（三島海岸）、尾崎・千岩田海岸などで治山施設の災害復旧計画を進めている。大谷とお伊勢浜には海抜9・8㍎の堤防を築く敷地が足りず、砂浜に大きくせり出す設計案を地域に示

# 守るものは

ずれも県が管理する治山施設で、保安林とともに堤防を復旧する。

しかし、県はもともとあった海拔約4㍎の堤防へ地盤沈下分だけ戻す「原型復旧」の方向性も打ち出した。国に予算を求めると、底部の幅は約60㍎にもなる。

に、多くの住民が反対してきた。そうした住民の意向もくまれたが、原型復旧を選ぶ大きな理由は別にもある。高さ11・8㍎もの堤防を、大谷やお伊勢浜で計画している台形型の傾斜堤タイプにすると、底部の幅は約60㍎にもなる。

防災面不安  
『判断は地元』  
砂浜と景観を守るという視点では、堤防の原型復旧は地元

民代表と話し合いを重ねている。東日本大震災の影響が比較的小さかった小田の浜は、今夏、県内唯一の海開きを予定している。その復活は、観光を売りにする大島にとっては大きな希望の一つで、自慢の海水浴場に巨大堤防を張り巡らせること

小田の浜、田中浜ともに既存の保安林の幅は10〜20㍎程度。背後には県道大島線が走り、堤防は海側に大きくせり出して砂浜をつぶしてしまい、整備費用も膨らむ。

陸中海岸国立公園内であり、環境省は大島の復興を後押しするため、トイレや

防の原型復旧は地元で歓迎されている。しかし、防災の観点では大きな心配が残る。

東日本大震災の大津波は、田中浜から上陸して峠を乗り越え、大島の玄関口である浦の浜を襲った。浦の浜は内湾からあふれた津波と前後にはさまれ、大きな被害を受けた。

市が9日に告示した災害危険区域は、田中浜と小田の浜に11・8㍎の堤防が整備されることを前提にした津波シミュレーション結果をもとに決めた。巨大堤防の減災効果によって、津波は峠の手前で止まり、想定浸水区域が減少している。

原型復旧を選択すれば、大津波は再び峠を越える。浦の浜には海抜7・8㍎の堤防が計画されており、山側から津波に襲われれば、地域がプール上になって想定外の被害が発生する恐れがある。

県気仙沼地方振興事務所農林振興部は「明治三陸級の津波を防ぐ11・8㍎の堤防を整備する選択肢も残してある。最終的な判断は、地元の意向次第になる」と話している。

堤防に関する市民説明会と意見交換会はきょう11日、内湾地区（午後6時30分）から気仙沼魚市場会議室（を皮切りにスタートし、海岸管理者がそろって計画を説明する。住民の意見や疑問とどう向き合うのか、地域の将来を左右する大事な局面を迎える。

# 海水浴場の変貌懸念

## 砂浜にせり出す堤防

原型復旧  
方向性も示す  
田中浜、小田の浜  
気仙沼大島にある田中浜と小田の浜は、明治三陸級の津波に備え、新たに海抜11・8㍎の堤防高が示されていた。い

気仙沼市では林野庁がお伊勢浜、大谷（三島海岸）、尾崎・千岩田海岸などで治山施設の災害復旧計画を進めている。大谷とお伊勢浜には海抜9・8㍎の堤防を築く敷地が足りず、砂浜に大きくせり出す設計案を地域に示

陸中海岸国立公園内であり、環境省は大島の復興を後押しするため、トイレや

市が9日に告示した災害危険区域は、田中浜と小田の浜に11・8㍎の堤防が整備されることを前提にした津波シミュレーション結果をもとに決めた。巨大堤防の減災効果によって、津波は峠の手前で止まり、想定浸水区域が減少している。

原型復旧を選択すれば、大津波は再び峠を越える。浦の浜には海抜7・8㍎の堤防が計画されており、山側から津波に襲われれば、地域がプール上になって想定外の被害が発生する恐れがある。

堤防に関する市民説明会と意見交換会はきょう11日、内湾地区（午後6時30分）から気仙沼魚市場会議室（を皮切りにスタートし、海岸管理者がそろって計画を説明する。住民の意見や疑問とどう向き合うのか、地域の将来を左右する大事な局面を迎える。

（今川悟）  
おわり

2012年7月11日付  
『三陸新報』1面①





大島の田中浜（手前）と小田の浜

2012年7月11日付「三陸新報」1面②